

城里町定員管理 5 ヶ年計画

令和8年4月1日 現在

項 目	令和 9 年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	目標(令和14年4月)
年度当初職員総数	200	200	200	200	200	200
うち新規採用数	7	5	4	4	8	10
うち役職定年数	8	10	12	16	18	22
うち暫定再任用更新数	4	3	2	6		-
うち暫定再任用新規数	2		6		2	-
退職者	定年退職者数		7		2	
	勸奨・自己退職	2	2	2	2	2
	再任用任期満了	3	1	2	6	2
	退職者総数	5	10	4	10	4
	退職者別給料表					
	行一	5	9	3	10	4
	行二					
	医一		1			
	医二					
年度末職員総数	195	190	196	190	196	

※令和 4 年度から定年が60歳から65歳まで 2 年に 1 歳ずつ段階的に引上げられている。

※今後の組織再編等により、数値の変動、計画の見直し等がありうる。

※定員には週31時間未満の再任用短時間勤務職員含めない。

【計画策定の背景と今後の取り組みについて】

1 計画策定の背景（変則的な職員動向への対応）

- 定年引き上げによる退職者ゼロ年への対応
令和4年度からの段階的な定年引き上げに伴い、本計画期間中は「定年退職者がゼロとなる年（令和9・11・13年度）」が隔年で発生する極めて変則的なサイクルとなります。

2 今後の重要取り組み事項（持続可能な組織づくり）

- 採用の平準化による組織の若返り
退職者が発生しない年であっても、将来の深刻な世代間バランスの不均衡（組織の年齢構成の歪み）を防ぐため、毎年度4名～8名、最終年度には10名（計28名）の新規採用を安定的・継続的に行い、組織の活力を維持します。
- 役職定年者（シニア職員）のナレッジ継承体制の構築
役職定年急増（計画最終年度には18名）に対応する組織の若返りと高年齢化する職員の強みを組織の強みに変えるための人事・育成マネジメントの仕組みを構築する。